

薬 剤 科



薬剤科の業務は、院外処方箋の発行により入院患者さまに対する薬剤の管理・指導が中心となっています。従来から行っている取り組みではありますが、多数の医療機関にて処方された薬を服薬している患者さまが多いことから入院時の持参薬の確認はすべての患者さまに行っており、副作用や相互作用などについての安全使用に関わる情報提供には特に力を入れています。

薬剤師は、皆様に最適な薬剤が選択され、正しく使用されているか、期待どおりの治療効果が得られているのか、副作用となる症状がでていないかなどを確認することが仕事と考えております。くすりのことなら、いつでも、どんなことでもぜひ気軽にご相談ください。

薬剤科長 市川 勝

新人職員紹介

久保田さん

鹿児島県の種子島より来ました。高校を卒業したばかりで、何もわかりませんが先輩たちがいろいろ教えてくれるので少しずつ慣れてきました。回復期病棟で看護助手をしていますので見かけたら声をかけてくれるとうれしいです。



専門外来案内

※1 脊椎外科
※2 2回/月

		月	火	水	木	金	土
整形専門 外来	午前	○	○		○		
	午後	○		*1○	○		/
脳神経 外科	午前			○			
	午後					○	/
循環器科	午前	○					
	午後	○	○			○	/
内分泌 内科	午前		○				*2○
	午後						/
皮膚科	午前						
	午後		○			○	/
神経内科	午前		○			○	*2○
	午後						/

編集後記

「天災は、忘れたころにやってくる」との言葉が象徴しているように熊本地方に大きな地震が起きた。記憶にあたりしい東日本大震災、阪神淡路大震災を通して学んだことは何だったのかを改めて問い直されている震災だったように感じられる。病院に勤務する我々はその時にはどう行動するか改めて考えさせられている今日このごろである。

(M・I)

医療法人 明和会 辻村外科病院

〒448-0001 愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島20-1
Tel(0566)36-5200 Fax(0566)36-5561
http://tsujimurageka-hp.com/

発行日：2016年7月1日 発行者：辻村外科病院広報委員会

広 報
つじむら
第 2 1 号

基本理念

Smile&Harmony
～明るい笑顔と調和～

基本方針

- ・いつも明るく患者様の満足を常に考え、医業に専念します。
- ・地域に働く人々及びその御家族の幸せを第一に考え、信頼される調和のとれた病院を目指します。
- ・同じロマンを持つスタッフが一丸となり得られた成果を社会に還元し、医療の質向上に努めます。

患者様には以下の権利と責任があります。

- ・個人としてその人格を尊重され、適切な医療を平等に受ける権利があります。
- ・病名、病状、予後、検査と治療の内容と危険性、薬の効果と副作用などについて十分に理解できるまで説明を受ける権利があります。
- ・治療法など自らの意思で選択する権利があります。
- ・個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
- ・これらの権利を守るため、患者様は医療従事者と力を合わせて医療に参加、協力する責任があります。

ごあいさつ



日頃は病院運営にあたり格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度の熊本大地震に被災されました、皆様、関係者に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当院におきましては、耐震に関わる改修をこの夏に予定しております。病院の建物に関しては、国の耐震建築基準はクリアしておりますが、さらに安全・安心して使用するべく改修を行います。改修等においては皆様にはご不便・ご迷惑をおかけいたしますが何卒ご理解賜ります様お願い申し上げます。

又、今年度の取り組みとしましては、この秋に病院機能評価を受審する予定となっております。病院機能評価は病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動(機能)が適切に実施されているかどうかを評価する仕組みであり、審査する機関(病院機能評価機構)より派遣された評価調査者が中立・公平な立場から病院の活動状況を評価し、評価の結果明らかになった課題に対し病院が改善に取り組むことで、医療の質向上が図られるものとして多くの病院が受審しているものです。当院も過去2回受審しておりますが、更なる医療の質向上を目指して3回目の受審を予定しております。

今後もより地域から愛される病院を目指し医療サービスの向上に精進してまいりますのでより一層のご指導・ご鞭撻賜ります様お願い申し上げます。

平成28年7月

医療法人 明和会 辻村外科病院

病院長 辻村 亨

病気の説明シリーズ Vol.21

夏の胃腸障害

夏は胃腸障害が起こりやすい季節です。今回は夏の胃腸障害の原因と症状、その対策についてについて解説します。

(監修:病院長 辻村 享)

原因と症状

ストレスは、物理的(暑さや寒さ、騒音など)、心理的要素(怒り、不安など)といった、さまざまな要素から大きなストレスが引き起こされ胃腸の障害を招きます。

また、生活習慣の乱れも要因となります。暴飲、暴食、睡眠不足なども胃腸に大きく負担をかけてしまいます。



これらが原因で...

- 食欲不振・消化不良
- 便秘・下痢
- 胃痛



日常生活でできる予防法

1 暑い日の過ごし方を工夫する。

日中の暑い時間帯を避けて外出したり、室内ではエアコンの温度や風向きに注意し温度管理をしましょう。外気温との差は5℃くらいが理想です。



2 食事の工夫をして疲労を回復する

食欲が減退しがちな夏の食事は「量より質」にこだわった食事をとりましょう。豚肉、ウナギ、納豆、玄米などの良質なたんぱく質、高ビタミンの食材をとり入れましょう。



3 生活習慣に気をつける

不規則な生活などを避け、ストレスが過剰にならないように十分な運動や睡眠をとりましょう。寝る30分~1時間前にぬるめのお風呂につかり、暑くて寝苦しいときは外気との温度差を5℃以内で設定し眠り始めの3時間だけエアコンを使用しましょう。



栄養科より

HAPPY MOTHER'S DAY ~母の日~



竹の子ごはん
鮭味噌チーズ焼き
茶碗蒸し海老あんかけ
菜の花おかか和え
苺のケーキ

エネルギー 638kcal
たんぱく質 37.7g
脂質 19.6g
炭水化物 73.4g
食塩相当量 2.3g



常食



ペースト食



きざみ食



母の日は、アメリカから日本に伝わった風習です。1905年、アンナ・ジャービスという一人の女の子が、母の死を切っ掛けに「生きている間にお母さんに感謝の気持ちを伝える機会を設けるべきだ」と働きかけたのが始まりとされています。また、アンナは祭壇に母の好きだった白のカーネーションを飾ったことから、現代に続く「母の日にはカーネーションを贈る」習慣が生まれたとされています。

辻村外科病院 栄養科